

編集と発行

発行 嘉手納町役場
編集 企画課広報係
〒904-02嘉手納町字嘉手納588番地
☎ 09895(6)-1111
(内線331)

印刷:ロータリー印刷



広報

かでな

4月1日の人口

	東区	上区	中区	藤北区	南区	西区	西浜区	計
世帯数	692	437	414	549	586	578	568	3,824
男子	1,369	795	763	976	971	1,088	1,210	7,172
女子	1,318	831	771	994	1,014	1,124	1,149	7,201
計	2,687	1,626	1,534	1,970	1,985	2,212	2,359	14,373

上記には外人登録を含まず



“こいのぼり”

健やかな子供達の成長を願つて
五月晴れの空にコイのぼりは天高
く泳いで……

お母さんは一人二役のがんばり屋さん



神村エミ子さん 当山 爰子さん 古謝シズ子さん 名島喜代子さん 石嶺ツル子さん 池原 春子さん 金城 栄子さん 西表千代子さん

「母の日」作文特集

五月十三日は「母の日」、屋良嘉手納の両小学校の皆さんに書いた「お母さん」の作文の中から、「母の日」にちなみ、八点を紹介いたします。

「いそがしいお母さん」「働き者のお母さん」「お母さんの手は魔法の手」「お母さんは一人二役のがんばり屋さん」——女は弱しされど母は強し

ミシンをつかうおかあさん

屋良小学校 二年

いりおもて なみ子



いりおもて なみ子さん

手をあらつてすぐにミシンのところにむかっていきます。ちゅうも

んされたようふくとスカートをぬいます。足を早くふんで手をつかつて、とてもまじめなかおをして、わたしたちがはなししかけてもむちゅうになつて、ぜんぜんはなしをきいてくれません。わたしはいそがしいんだなあとおもつてはなしをしません。

いつしようけんめいやつて、とう音がきこえできます。

わたしはがいくらくおきても、やさいをきつているコトコトといふ音がきこえます。

おかあさんはもうおきています。わたしはおきておかあさんに、「おはよう」というと、おかあさんが「いまおきたの」といいます。

ごはんをみんなにあげてから、わたしはおかあさんに

「おかあさん、くすりとちりしをもつてくるからねえ」といいます。

わたしはくすりをつけてあげようとしても、おかあさんはじぶんでつけます。

おかあさんは、ときどきつかれたときは

「ああ、つかれたあー」といって、すわってぼんやりとし

わたしは、そんなおかあさんが大きです。

大へん 大へん

嘉手納小学校 三年

金城武志くん
金城武志



金城武志くん

今日も、五時ごろ台どころに立つた。そして

「よし、きめた、とんかつにしよう」といって、れいぞうこからとんかつを出して、まないたの上にならべた。

すると、とつぜん、せんたく場に走つて行き、せんたくきに水を入れるとスイッチをおした。ギューギューと音が聞こえてきた。

バタバタバタともどつてくると、コンロの上にフライパンをおき、火をつけた。そんなお母さんが回つてお母さんがいる。ついぱくまで走り出しなくなってしまう。

火をつけた。そんなお母さんを見が、もりかなあ。すると大へんだなあと思う。

そのときに、わたしが

「つかれたねえ」

といいます。

といいながら、かたをもんであげます。

そしたらおかあさんが

「いつもありがとうね」

といいます。

わたしは、そんなおかあさんが

大きです。

時に帰つてくるのです。

四月十六日、月曜日の朝、おか

あさに、

「早くじゅんびしなさい」

とおこられた。わたしは、

「もうじゅんびしたよ。おにいさ

んとさと子がおそいんでしよう」

といった。そのとき、二年生でお

なじクラスだったあき子さんと、

あき子さんの弟がむかえに来てい

た。わたしはどうしようかとまよ

つていた。それで、おかあさんに、

「どうする」

ときくと、

「あき子さんたちは、みなとどお

りから歩いてもらいたいなさい。すぐ

に出るから」

とあき子さんにいうと、

「いいよ」

といつて、あき子さんたちはさき

に行きました。

すぐに、わたしたちはごはんを

食べておかあさんの車にのりまし

た。

「早く行かないところするよ」

といつたので、おかあさんは

「はい、はい、いまいくよ」

といって、おかあさんの車はしゅ

っぱつした。早くあき子さんにお

えるといいのにと、わたしの心は

いっぱいだった。どちらうあき子

さんがあつたので車にのせました。

あさんはたいへんだなあと思つた。

とかんしんしていました。

「もうきたの、早いね」

「それにも、早いね」

「ごめんなさいね、あき子さん」

と、おかあさんもあやまつてた。

おかあさんに、車からおろして

もらつたところは、しろありとか

いてあるところで、あき子さんと

一人、早歩きしながらお話をして

学校へ行きました。

わたしたちをおろしたおかあさ

んは、ようちえんのさとを校門

までおくつて、おうちへ帰ります。

せんたくをして、せんたくもの

をほして、おわんをあらつて、お

うちをかたづけて、そうじをして、

わたしは、おかあさんはとても

日本生命に行く。わたしは、おか

ああさんといふところは十一

時です。

わたしは、かべにらくがきしたもの

をみんなでおとして、ホワイトの

ペンキをぬりました。

おかあさんがねむるころは十一

時です。

わたしは、おかあさんはとても

いいよ」

といつた。

「今日は、朝からとてもいそが

しかつた」

「いつも、一人でたいへんね」

私のお母さんは、一人二役のがん

ぱり屋です。

お母さんのきゆうけい時間は夜

ねる時だけです。私たち兄弟が学

校に出かけてから、お母さんの一

日が始まるのです。かたずけても

かたずけても、弟が起きているか

思ひます。だけど、やつぱり家族

の事やいろんな仕事は、お母さん

よくがんばっています。

夕はんの時、お母さんが、

いまとろ、パパが生きていたら、

こんなふうにならなかつたのにね」

と、さびしそうに考へこんでいる

すがたを見て、私は、「じやあ、

またけつこんすればいいよ」

といつたら、お母さんは、二コニ

コして

「できたら、そうしたいね」

といいました。

「今もパパが帰つてしまつたね」

といいました。

私たちのお父さんは、私が一年

生の時に病氣でなくなりました。

それでお母さんは、一人二役でが

んばつています。私たち兄弟のこ

とや家のすべてのことを、いつ

も一人でがんばつてゐるんです。

あの細い体を見ていると、ときど

きふつとかわいそつになるときが

あります。

おいしいごはんを作つてくれた

り、洗たくをしたり、かたづけも

します。お母さんはきれいすぎな

ので、おうちはピカピカです。そ

んな話し合ひをします。

れを見てお母さんは、えらいなー

と思います。

私は、よくおこられます。そ

う時など、パパがいたならーと

思います。だけど、やつぱり家族

の事やいろんな仕事は、お母さん

でなくてはいけないと思ひます。

私がいやな、仕事や勉強のこと

なども色々とやってくれます。テ

ストで悪い点数を取つてきてかく

がしそうです。

その間に、わたしたちはしゆく

だいをしたり、わたしたちが小さ

いころ、かべにらくがきしたもの

をみんなでおとして、ホワイトの

ペンキをぬりました。

おかあさんがねむるころは十一

時です。

わたしは、おかあさんはとても

いいよ」

といつた。

「おこるのは、だれのためでもな

く、あなたのためなんですよ」

と言われ、なるほどと思ひました。

おこられないで、自分ができるよ

うになりたいと、心の中で思いま

した。

赤ちゃんの時の写しんを見なが

ら、

「苦しんで、あなたたちを生んだ

のよ、りつぱな子になるんですよ

パパもいないんだから、人より何

ばいも勉強して、りつぱなしよく

業を持ちなさい」と言ひます。

夕ごはんは、お母さんをかこん

で五人で食事をします。その時が

家族の話し合える時間です。いろ

んな話し合ひをします。

いそがしいお母さん

嘉手納小学校

四年

名 嘉 彩

さん

名 嘉 彩 さん

-5-

「彩は、医者にならない」と言うと、お姉ちゃんたちが

「彩なんか、血を見ただけで気持ち悪くなるんだってよ」とひやかします。そしたらお母さんが

「はじめは、みんな血はこわいのよ、そのうち、医者は一週間の休みもがまんができないほど、血のにおいがこいしくなるんだつてよ」といいました。

私はびっくりしてしまいました。私のパパはお医者さんだったからです。

しばらくたつてから、お母さんは、みんながまんができないほど、血のにおいがこいしくなるんだつてよ」といいました。私はびっくりしてしまいました。私のパパはお医者さんだったからです。

そんなことで、お母さんのあだ名は「サザエさん」です。サザエさんは、お父さんよりすこいんです。

そんなお母さん、いつまでも長生きして下さい。

私たち兄弟、協力するからね。

そんなお母さん、いつまでも長生きして下さい。

そんなお母さん、いつまでも長生きして下さい。

働き者のおかあさん

嘉手納小学校 五年

古謝 健作

古謝 健作くん



いつもおかあさんの声だ。まる

もうご飯の準備はできている。おかあさんは朝早く起きてご飯を作っていたんだなあ。

テーブルには、ご飯、おかず、みそしる、とんかつ……と、いっぱいおわんに入れられている。いつもぼくの大好きな物ばかりだ。

ぼくは急におなかがすいたみたいになる。

おかあさんは、ぼくたちが勉強している時は給食センターで大き

は仕事に取りかかりました。お母さんは、私たちとゆづくり話してお父さんの役目もしてるからです。

お父さんの役目もしてるからで

す。ときどき、まるでお父さんみ

たいです。

そんなことで、お母さんのあだ

なは「サザエさん」です。

サザエさんは、お父さんよりす

こいんです。

そんなお母さん、いつまでも長

生きして下さい。

私たち兄弟、協力するからね。

そんなお母さん、いつまでも長

生きして下さい。

おかあさんはいつもいそがしそうだ。ぼくがご飯を食べている時

は、おかあさんはかがみの前でパタパタとおけしようをしている。

その顔はとてもしんげんである。

ぼくが食べ終わると、おかあさんも終わっている。けしょうをした

も終わっている。けしょうをした

あとのおかあさんの顔は三十才に見える。ぼくがテレビを見ている

時には着がえをしている。おかあさんはいつも休みなく働いている。

いもうとがいつもの調子で

「洋服がない」「洋服がない」

が始まる。おかあさんはすばやく見つけてあげる。妹はもう二年生だから、自分でおく場所をきめてやらせたほうがいいと思う。

私のおかあさんは仕事をもつています。おかあさんが家から出る時必ずやることがあります。まずゴミのいっぱい入った袋を家の前で目ざまし時計だ。起きてみると、もうご飯の準備はできている。おかあさんは朝早く起きてご飯を作っていたんだなあ。

テーブルには、ご飯、おかず、みそしる、とんかつ……と、いつかいわんに入れられている。いつもぼくの大好きな物ばかりだ。

みんながご飯を食べ終わると、おかあさんは、ぼくたちが勉強

またあとかたづけを始めます。お

かあさんは、ぼくたちが勉強

わんをあらう時はおねえさんとい

つしょにやります。その時はおかあさんは少しくらのよう見えます。だけど、ぼくが一人でおわんをあらうと手くびがいたくなりま

す。ぼくはとてもいたいけど、お

かあさんはぜんぜんいたくなさそ

うです。

おかあさんは、仕事から帰つてくるとすぐにせんたくをします。

おかあさんは、ぼくたちのため

にいろいろな仕事をしています。

おかあさんは、一人でこん

なにいっぱいの仕事を一日中して

いるなと思うと、とてもえらい

なあと思います。

一日の仕事が終わって、おかあさんは新聞をひろげて見ます。でもみんなはテレビにむ中になつてしまします。そんなときは、ぼくがふとんをしいてあげます。

ふとんをしきおわるとおかあさん

を起こして、

おいしい物が出ると、みんなと

りあいするので、お父さんがさらに入れてわけてあげます。

みんながご飯を食べ終わると、

おかあさんのために、ぼくはな

す。

わたしの母

屋良小学校六年

当山りえ



当山りえさん

力があります。

兄弟げんかをすると、
「りえ、あんたが文句をわなければ、こんなことにならなかつたでしょう。それとも、あんたは悪くないっていうの」

母は、とても陽気で明るくおもしろい人です。友達が来ると子どもにはしゃぎます。スターの歌を歌つたり、せん伝のまねをしたりして、私達をわらわせてくれます。

妹の友達が

「おばさん、歌を歌つたり何かのまねしてみて。おばさんがやるのおもしろいから」

そんな母なので、お母さんというよりも、友達みたいな感じがします。

しかし、おこるととても说得ります。

「母ちゃん、お肉食べたら」

と言うと
「いいよ、あんた達がいっぱい食べてからあとで食べるよ」

母はお肉を食べないので、健康のためには少しでも食べてほしいなあと思います。

ぼくのお母さん

屋良小学校六年

神村盛敏



神村盛敏くん

がない。

「ぼくに、魔法が使えたら、お母さんをじょうぶな体にして、授業参観日などに出席させるんだけどなあ」

と思った。

お母さんは、ときどき、

「男に生まれればよかつた」と言う。

「どうしてー」

「女は毎日働いてばかりでしょう、ボーリング」

「そなえよ、つねに」一が、ボーリング

「カブスカウト」

募集中

六月二日に発団式

「最高においしい。こんなおいしい

楽しい活動がいっぱいのカブス

カウト」

ボーリング

ボーリング

ボーリング

ボーリング

ボーリング

私は、あまり今まで母のことを考えていないかったと思います。しかし、これからは、お手伝いをいたさんやり、母のことを考えています。

母はお肉を食べないので、健康のためには少しでも食べてほしいなあと思います。

切にしていきたいです。

お母さんは、

「ケガをしている人などにやると、だんだんよくなつてくるよ」

と思いました。

淨靈が出来る人は、特別なおまもりを持っています。

「ぼくも、もつてているから友達などにやつてみようかな」

と思いました。

お母さんはこの頃、カラオケに夢中になっています。

ぼくは、歌がうまく、体の弱いお母さんをいたわって、大切にしたいと思います。

お母さんは、この頃、カラオケに夢中になっています。

ぼくは、そんなことを言つたお母さんの気持ちがわかるような気がした。

それで、ぼくたちが夕食の準備

いう、おまじないを毎朝、学校へ行くまえにぼくにしてくれます。

「お母さん、淨靈はどんなときめがあるの」

と聞いた。

ぼくのお母さんは、「淨靈」と

いう、おまじないを毎朝、学校へ

行くまえにぼくにしてくれます。

「お母さん、淨靈はどんなときめがあるの」

と聞いた。

会(六一~八一〇)まで!!

くわしい問い合わせは町商工

子が対象です。

昭和59年5月1日

あて先

国画と作文を募集

テーマ

豊かで住みよい国づくり

国土建設週間

七月十日から十六日までは国土

建設週間です。この週間の行事の一環として建設省では、全国の小・中学生の皆さんから豊かで住みよい国土の建設に関する国画・作文を募集しています。

応募要領は次のとおりです。

テーマ 公園、河川、道路、住宅、下水道、ダムなどわたしたちの暮らしのまわりにあるものを通して豊かで住みよい国づくりを表現したもの

応募規定

国画の部

- 応募対象 小学生
- 用紙 四ツ切画用紙 (36cm × 52cm)
- 色材料 油絵具を除き自由
- 作文の部
- 応募対象 中学生
- 原稿枚数 二千字以内

応募期間

昭和五十九年四月一日から五月三十日まで

昭和59年度 町体協行事日程

月 日	行 事	会 場
5月6日	野 球 大 会	小中校グラウンド
13日	軟式テニス大会	嘉手納中コート
13日	バレーボール大会	嘉手納小体育館
27日	バスケットボール大会	嘉手納中体育館
6月10日	硬式テニス大会	嘉手納中コート
19~21日	ソフトボール大会	ナ イ タ ー
24日	バドミントン大会	嘉手納小体育館
7月4~6日	サッカー大会	ナ イ タ ー
8日	卓 球 大 会	嘉手納中体育館
8日	剣 道 大 会	嘉手納小体育館
15日	ハンドボール大会	嘉手納小体育館
9月下旬	町陸上競技大会	水釜総合運動場
11月	町内職域野球大会	ク

那覇市泉崎一ノ二ノ三三一
沖縄県土木建築部総務課
〒966-0066

作品には必ず学校名・学年・氏名(ふりがなを付ける)を明記のこと。

なお、作品は沖縄県で地方審査を行った後、建設省で行う中央審査で入賞作品が決定されます。



町体協行事日程決まる

(5月6日) 星期六 野球大会でスタート

嘉手納町体育協会(比嘉朝盛会長)では、四月十二日、南区公民館で行われた評議員会において、左記の通り、昭和五十九年度の行事日程が決まりました。

嘉手納町立学校児童生徒数

昭和59年4月現在

学年 学校名	屋 良 小 学 校			嘉 手 納 小 学 校			嘉 手 納 中 学 校					
	学級数	児童数		学級数	児童数		学級数	生徒数				
		男	女		男	女		男	女			
1 年	3	40	52	92	5	97	74	171	6	143	128	271
2 年	2	37	36	73	4	79	79	158	6	138	115	253
3 年	3	48	49	97	5	81	102	183	7	147	141	288
4 年	3	48	51	99	4	79	81	160				
5 年	3	64	46	110	5	102	86	188				
6 年	3	59	46	105	5	104	79	183				
計	19(2)	296	280	576	31(3)	524	501	1,043	21(2)	428	384	812

() は特殊学級

屋 良 幼 稚 園			嘉 手 納 幼 稚 園				
学級数	児童数		学級数	児童数			
	男	女		男	女		
2	42	35	77	4	66	53	117

(われら仲間は今月休みます)

「農家の生産意欲の向上と、研修・交流の場に——」
と、四月三日午後、嘉手納農協東側で農民研修センターの起工式が行われ、来賓多数が出席する中、吉浜町長、當山農協長、玉城一郎玉城組社長によりクワ入れが行われた。

農民研修センターは、総工費一億二千五百万円の地上三階建てで、三七五人収容の大ホール、料理研修室、着付・茶前室（和室）、図書室などが予定されている。吉浜町長は「本町における農業は、農地の大半が黙認耕作地のため多くの課題をかかえているが、研修センターの完成後は、農家と地域住民の方々の研さんとの場として多用してほしい」と起工式のあいさつがあった。

農民研修センター起工式

◆一億二千五百万円で建設◆



▲力づよくクワ入れを行う吉浜町長、當山農協長、玉城組社長
(4月3日・農協東側敷地)



▲当山獣医の注射を受ける“チワウくん”(4月22日・上区公民館)

愛犬も家族の一員です

◆狂犬病予防注射◆

第一回目の狂犬病予防注射が四月二十二日、上区・西区公民館で行われ、七十五頭の愛犬が予防注射を受けました。

狂犬病は、犬から人へ伝染する恐ろしい人獣共通伝染病であり、狂犬のこう傷によって起ります。そこで、犬の所有者は狂犬病の発生とまん延を防止するため、飼い犬の登録及び六ヶ月ごとにその犬に狂犬病予防注射を受けさせなければなりません。

犬は、古来人間のよき友、家族の一員として生活を共にしてきました。正しく飼い長いおつきあいをしたいものです。

教育委に宮城清祐氏選任

◆真壁朝詢氏の後任◆

任期満了に伴う嘉手納町教育委員の任命について、三三定期例本会議において宮城清祐氏が全会一致で同意され、四月三日、町役場応接室において吉浜町長から辞令が交付されました。

宮城清祐氏は、現在、嘉手納中学校PTA会長を務めるなど、PTA活動にも熱心な方で、就任に際し「子供達の教育のため、諸先輩方と共に一生懸命頑張って行きたい」とあいさつがあり、吉浜町長から「本町の教育行政の確立と発展のため頑張って下さい」と激励のあいさつがあった。

また、今回退任された真壁朝詢氏は、昭和三十年の就任以来、六期にわたり教育委員を努められ、本町教育行政の基礎づくりをされた方です。

真壁朝詢さん、長い間ご苦労さまでした。



▲吉浜町長から辞令を受ける宮城清祐氏
(4月3日・役場応接室)

